

国土交通省技監 谷口 博昭

ドイツの政治学者がた人物がいます。

「沈黙の螺旋理論」といふことを言っています。度重なる信濃川の氾濫

を防ぐため、大津の分

水路を作った青山士（あ

きら）や、琵琶湖疎水を

作った田辺朔郎ら先達。

青山博士は日本人でただ

一人、パナマ運河の開削

に加わり、帰国後も東京

の荒川放水路の設計・工

事をしています。

事の自信に満ちた抜擢で

田辺博士は、恩師ヘン

リー・ダイアーの言葉を

引用し、工事誌の扉に「少

々の失敗に負けず、若い

人が活躍でき、時代を切

り開くような技術に挑

み」という主旨の、チャ

レンジ精神の大切さを記

しています。

国土守るチャレンジ精神

中国の四川大地震やミャンマーのサイクロン被

害を見て、改めて国土保

全の重要性、国土形成の

必要を痛感しました。日

本はもっと独自の文化に

自信と誇りを持つべきで

す。日本の文化、多様性

を世界に広めるため、情

報を上手に発信して、世

界に貢献すべきだ、と考

えます。

誇りを持って、自ら発言

することを望みます。

日本で最初の溜め池、

狭山湖を作ったのは東大

寺の僧行基で、それを再

興したのも僧重源です。

1000年にも及ぶかさ

た。秀吉以来の都へ琵琶

湖から水を引く夢を実現

事監督を務めました。

田辺博士は、東京遷都

で衰退が懸念された京

都のため、大学を卒業し

た23歳で、琵琶湖疎

水の責任者になりました

と信じて行動してほし

い。世界に冠たる国土

守るべきだ、と信じて

行動してほし

沈黙の螺旋理論に陥ら

ず、どんどん発言すべき

です。小さく始めても

よい。大きな輪に広げる

ため人を巻き込む。良い

テーマで良い動きをすれ

ば世の中を変えられる、

と信じて行動してほし

い。世界に冠たる国土

守るべきだ、と信じて

行動してほし